



ちかこしんぶん

周子新聞

発行：志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会

(事務局：西川交流センターあいべ内) Tel.0237-74-3131

〒990-0703 山形県西村山郡西川町大字間沢 280

映画「いしゃ先生」1次ロケ終了 町内外での撮影順調に進む

映画「いしゃ先生」の1次ロケが町内大井沢をはじめ鶴岡市、大江町、尾花沢市、山形市、白鷹町などで行われました。

10月22日から11月6日までの期間中、町内大井沢をはじめ県内各地で1次ロケ撮影が行われました。各撮影地でスタッフ陣やキャストに対する差し入れや励ましなどをいただき感謝を申し上げます。また、エキストラ出演などで多くの方々からご協力をいただき感謝を申し上げます。



大井沢診療所前での撮影シーン



「周子先生が作ったライスカレー」を食べた子役たち

吉村県知事を訪問 支援要請

11月14日、小川町長、阿部会長、黒坂副会長とあべ美佳さんらが吉村県知事を訪問し、甦らせる会の活動への支援を要請しました。志田周子先生は山形県の宝となる偉人であり、映画「いしゃ先生」が県をあげた映画になるよう、情報発信と映画製作に対する支援を要請しました。吉村知事から「県としても情報発信などしていきたい」との回答をいただきました。



志田周子HPで、写真などがカラーで鮮明に見ることができます。

1次ロケでは多くの方々からエキストラとして協力をいただきました。今回は、家族総出でエキストラ出演となった大江町の金山浩さんから体験記をお寄せいただきました。

家族一同、突然のエキストラ出演！！

『そちらのお父さん、ちょっと時間ありますか？実は大人の男性のエキストラが1人不足してしまして。よろしければすぐに着替えてエキストラで出演していただきたいんですが？女優さんが待っていますので急いでお願いします』

この突然のスタッフから私への声がけが『いしゃ先生』への“寝耳に水”のエキストラ出演の始まりでした。

《約10日前》私は『いしゃ先生』関連のホームページを何気に眺めていました。すると「エキストラ募集！男の子は坊主頭。女の子はおかっぱ頭」という条件が載っていました。すぐに思いついたのが

「うちの小学校2年生の娘をダメモトで申し込んでみよう」というものでした。というのも、偶然にも私の娘が2週間程前にちょうど『おかっぱ頭』にしたばかりだったからです。

そして数日後、映画スタッフから連絡があり無事に娘が出演することになりました。ただ驚いたことに、なんと私の妻までもが出演することになったのでした。

《映画ロケ当日》11月2日の朝8時集合の指示のもと、私は1歳の赤ん坊と一緒に『引率者』として妻と娘を送り届けました。大井沢郵便局前には既に10名程のエキストラがいて、『もんぺ？はかま？』に着替えて、顔に『墨』を塗られた状態で自分の出番を待っていました。ちなみに妻と娘の役は、新しくできた「大井沢診療所」を“ねたみながら”遠目に見ている意地悪な役のようでした。私は妻と娘の緊張しながらも頑張っている姿をおもしろおかしく見ていました。

そして突然訪れたのが、冒頭に表現したスタッフから私への『声がけ』だったのでした。

『声がけ』以降の私の動きはいきなりの大忙しで、全力疾走？で走らされ、息を切らしながら「もんぺ・はかま」に着替えて、女優さんが待つ診療所に誘導されました。診療所では女優の平山あやさんが“確かに”私が来るのを待っているようでした。どうやら私の役柄は診察室に真新しい診療ベッドを運び込む役のようでした。2回ほど動きを確認してすぐに本番でした。時間にして10秒ぐらいのシーンだったと思います。

こうして、ドタバタながらも私達家族一同の「いしゃ先生」へのエキストラ出演が終わりました。今回の出演がきっかけになり、来年秋の映画の全国公開が私達家族の楽しみの一つになっています。ぜひ家族みんなで映画館に行って、大井沢ロケの思い出に浸りながら鑑賞したいと思います。来年の秋は全国の映画館が「いしゃ先生」で満員になり、山形県の各地がロケ地めぐりの観光客で大いに賑わうことを祈念しております。スタッフの皆様、そして西川町の関係者の方々大変お疲れ様でした。



おかっぱ頭の知恵里さん

金山さんご寄稿ありがとうございました。ボランティア体験記など事務局までぜひお寄せください。